

2014年8月29日 掲載 山形新聞

千葉支店を移転 規模拡大、効率化

第一貨物、四街道に

第一貨物（山形市、武藤幸規社長）は28日、千葉支店を千葉市から四街道市に移転し、9月1日から営業を開始すると発表した。施設の規模を拡大し、業務の効率化を図る。

新支店は鉄骨2階建て。延べ床面積は約6600平方メートルで現支店の約3・7倍となる。敷地面積は約3万8千平方メートルで約5・8倍。施設が老朽化し手狭になっ

たことからリニューアルした。荷さばきスペースと車庫面積を拡大し、作業効率の改善を図る。

同社は2012年12月に総合物流拠点として大宮支店（さいたま市）を開設しており、今回の千葉支店移転を含めた東京近郊への大規模支店開設は、東北や東名、関越などの各高速道と接続する首都圏中央連絡自動車道の全線開通を見据えた取り組み。ネットワーク網の充実と輸送サービスの向上につなげる狙い。